

# 第1回統合創・省・基盤技術エネルギー教育研究拠点国際シンポジウム

第2回エネルギー基盤技術国際教育研究センター国際シンポジウム

2014（平成26）年11月27～28日

九州大学筑紫キャンパス総合研究棟（C-Cube）1階 筑紫ホール

主催：九州大学エネルギー基盤技術国際教育研究センター

共催：九州大学炭素資源国際教育研究センター

九州大学グリーンアジア国際リーダー教育センター

## プログラム

### 11月27日(木)

09:15 - 09:30 開会の挨拶

永島 英夫（九州大学エネルギー基盤技術国際教育研究センター長 教授）

### 炭素資源セッション

09:30 - 10:15 「バイオエネルギー・リファイナリシステムにおけるバイオチャー利用 - 統合的利用の可能性と効果」

Dr. Ondrej Masek（エンジンバラ大学、イギリス）

10:15 - 11:00 「炭素資源およびエネルギー資源としての石炭；金属鉱物付加価値とその処理量の増大」

Dr. Anggoro Tri Mursito（Indonesian Institute of Sciences、インドネシア）

11:00 - 11:15 休憩

11:15 - 12:00 「低温型水素燃料電池の酸素還元触媒の開発」

Prof. Kim Hansung（延世大学、大韓民国）

12:00 - 13:30 昼休み

13:30 - 14:15 「グリーンテクノロジー展開のための資源利用の取り組み」

Prof. Maria Natalia Roxas-Dimaano（セント・トーマス大学、フィリピン）

14:15 - 15:00 「Digital Grid for Future Electric Power Supply」

阿部 力也（東京大学大学院工学系研究科 特任教授）

15:00 - 15:15 休憩

## 11月27日(木) (続き)

### 基盤エネルギーセッション 1

15:15 - 16:00 「洋上自然エネルギーファーム用の新型海洋浮体の開発」  
胡 長洪 (九州大学応用力学研究所 教授)

16:00 - 16:45 「新しいステージを迎えた海洋温度差発電の国内および海外の動向  
-再生可能エネルギーにおける安定電源を目指して-」  
池上 康之 (佐賀大学海洋エネルギー研究センター 教授)

## 11月28日(金)

### 基盤エネルギーセッション 2

09:00 - 09:45 「室温駆動定置用 Na イオン電池における最近の進展」  
Prof. Yong-Sheng Hu (Institute of Physics, 中国科学技術院、中華人民共和国)

09:45 - 10:45 基調講演  
「Li イオン電池における発明の道のりと最新技術」  
吉野 彰 (旭化成(株) フェロー、吉野研究室室長)

10:45 - 11:00 休憩

11:00 - 11:45 「熱電変換-熱から電気を直接生み出す夢のテクノロジー」  
河本 邦仁 (名古屋大学大学院工学系研究科 教授)

11:45 - 12:00 閉会の挨拶

(本シンポジウムは全て英語で行われます。)

---

### 連絡先:

大瀧 倫卓

エネルギー基盤技術国際教育研究センター 教授

九州大学大学院総合理工学府量子プロセス理工学専攻

電話 & Fax : 092-583-7947

E-mail: ohtaki@kyudai.jp